記者発表

地域を“みず”から守る。
東北流域治水

令和6年2月21日
国土交通省　宮城南部復興事務所
宮城県　大河原土木事務所

引渡式のお知らせです。

「阿武隈川水系内川 特定災害復旧等河川工事 一部完了 引渡式」を開催します

～内川（不動（ふどう）地区から筆甫（ひっぽ）地区）の災害復旧事業の護岸工事が完了したので、宮城県に引き渡しを行います～

◆開催日時：令和6年2月29日(木) 10:00 ～
場所：宮城南部復興事務所　2階 中会議室（別添1参照）

＜概　要＞

丸森町の内川流域では、令和元年東日本台風（台風第19号）により、甚大な災害にみまわれました。この災害を受け、当事務所では宮城県知事からの要請を受け「直轄権限代行」による災害復旧工事を実施しているところです。

本事業では、令和2年度より「災害復旧事業」による護岸の原形復旧工事に併せて、より治水安全度を向上させるため「災害復旧助成事業」による河道掘削、堤防機能強化等の改良復旧工事を実施しております。

今回の引き渡しは、内川の「不動地区から筆甫地区の災害復旧事業」の護岸工事が完了したので、河川管理者である宮城県に引き渡しを行うものです。

引き続き、災害復旧助成事業による河道掘削、堤防機能強化及び附帯構造物（堰、橋梁、樋門等）の改築工事を進めてまいります。

＜引渡式 次第＞
1. 開　式
2. 一部完了引渡事業説明　東北地方整備局 宮城南部復興事務所長
3. 工事完成図書手交
4. 宮城県 大河原土木事務所長の言葉
5. 丸森町長の言葉
6. 閉　式

＜取材にあたってのお知らせ＞ 別添2「取材要領」参照
○ 取材当日は開催場所で受付をお願いします。

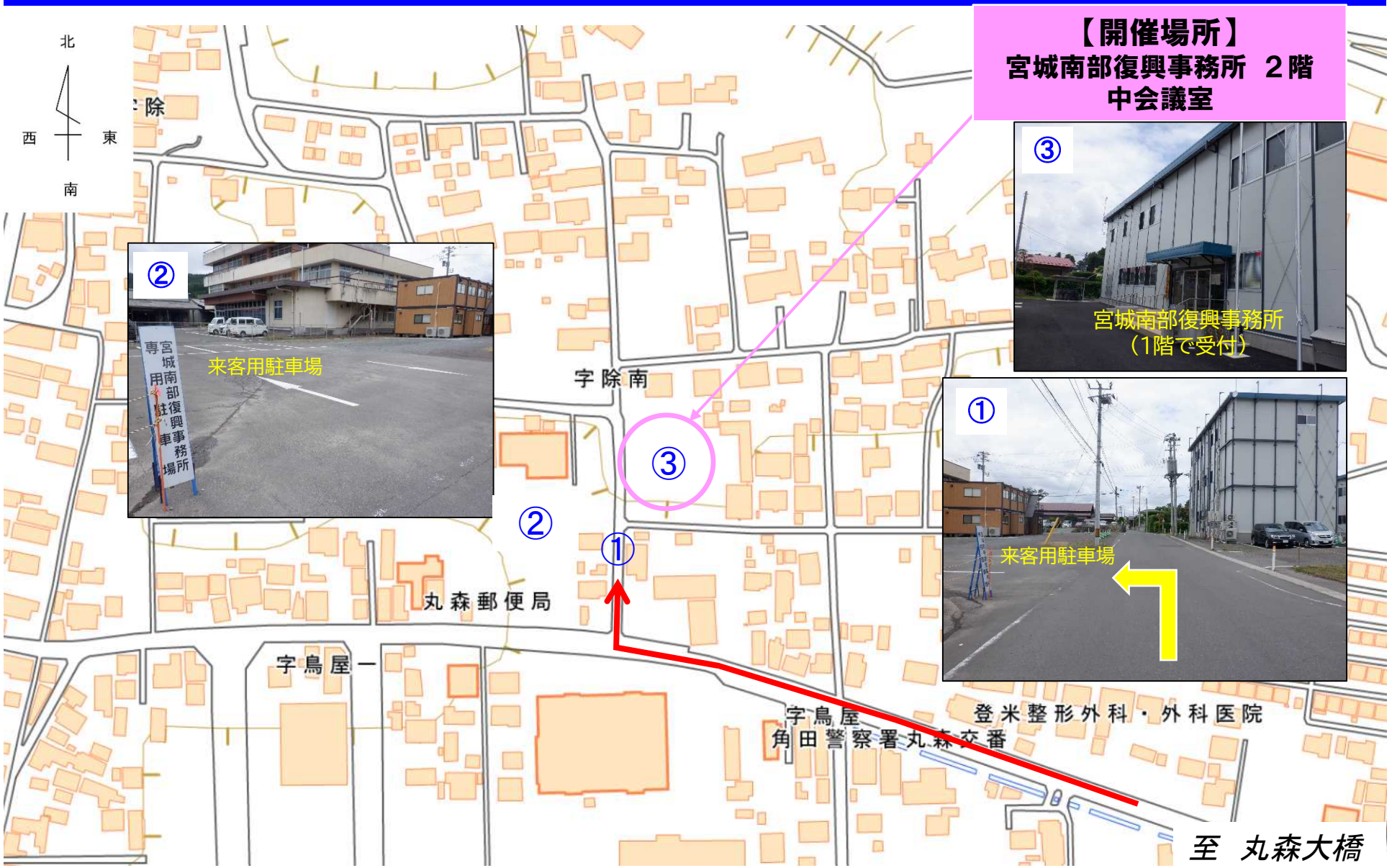
発表記者会：白石記者クラブ、宮城県政記者会、東北電力記者会、東北建設専門紙記者会

問い合わせ先

国土交通省　東北地方整備局　宮城南部復興事務所
宮城県伊具郡丸森町字除北20番地
電話：0224－51－8290（代表）
副所長（技術）　斎藤（さいとう）　巧（たくみ）　（内線204）
総務課長　西野（にしの）　祐一（ゆういち）　（内線211）

【開催場所】宮城南部復興事務所　〔受付時間_9:15～9:45〕

〔別添１〕



出典：地理院地図に所在地を追記して掲載

〔別添２〕

〔取材要領〕

１．事前申し込みについて

取材を希望される方は、下記〔メール記載事項〕を記入の上、「申込先のメールアドレス」へ送信願います。

申 込 先： thr-miyaginanbu-mi@ki.mlit.go.jp

申込期限： ２月２８日（水）１５：００

（スムーズな運営のため、御理解と御協力をお願いいたします。）

〔メール記載事項：本文に直接記載いただくことも可能です。〕

メール件名：240229 内川一部完了 引渡式

西 野　あて

下記のとおり　２月２９日の取材を申し込みます。

1）所属記者会名　（宮城県政記者会、東北電力記者会、東北建設専門紙記者会 等）

2）取材者（代表者）の会社・部署名・役職・氏名・連絡先

（連絡先（携帯番号等）は必ず、記載してください）

3）取材者の人数　（カメラマン、音声担当等も含めた総人数）

上記事項は、日程の変更などのお知らせや、取材スペースの確保に必要な情報となりますので、記入漏れの無いよう御協力をお願いいたします。

２．取材当日について

・当日は宮城南部復興事務所において、受付をお願いします。

受付時間　９：１５～９：４５

・取材に当たっては担当者の指示に従うようお願いいたします。

直轄権限代行災害復旧工事概要

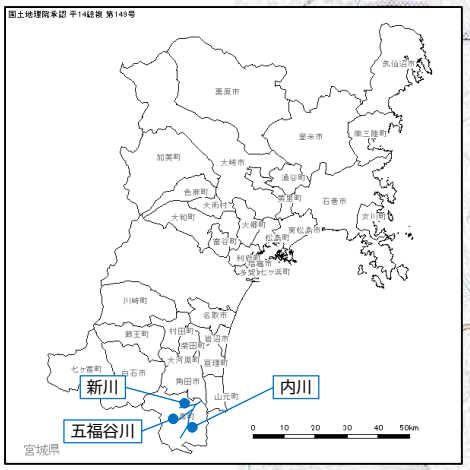
【参考資料】

国土交通省
宮城南部復興事務所

【引渡区間概要】

○ 区間延長：約10km

○ 施設：低水護岸 10箇所 約3.3km
※内川⑤～⑭が引渡対象



阿武隈川水系 内川 不動地区（内川⑥）

国土交通省
宮城南部復興事務所

【被災状況】





注）内川⑥は複数箇所で災害復旧を行っており、代表事例を示す

阿武隈川水系 内川 不動地区（内川⑥）

国土交通省
宮城南部復興事務所

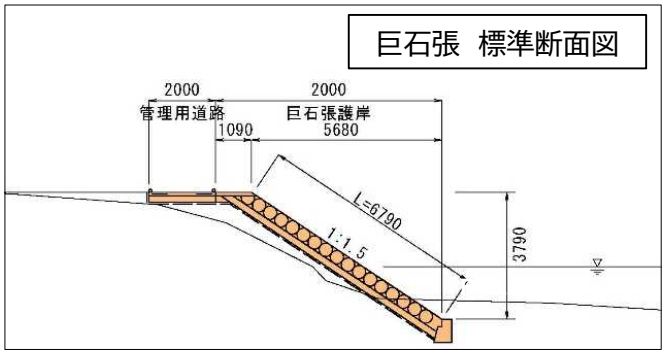
「丸森町の石工職人による東日本台風で発生した巨石を活用した護岸」が完成（不動尊公園キャンプ場内）

復旧後の利用状況　R03.08撮影

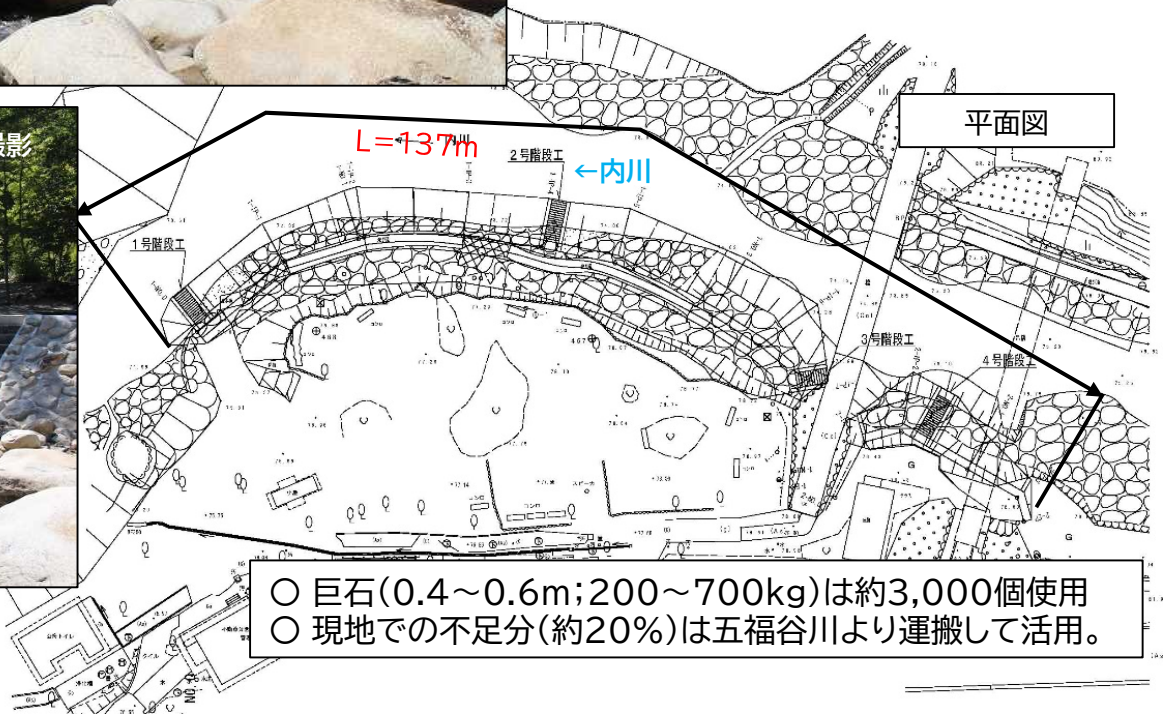




巨石張　標準断面図



平面図



○ 巨石（0.4～0.6m；200～700kg）は約3,000個使用
○ 現地での不足分（約20%）は五福谷川より運搬して活用。

阿武隈川水系 内川 筆甫地区（内川⑦）

国土交通省
宮城南部復興事務所

【被災状況】





【復旧状況】



